



佐藤 奈保美さん(仮名)(61歳・奈良県支部)

今年5月の「本人交流会in富山」に初参加された佐藤さんは、笑顔が素敵なお夫妻です。奈保美さんは寝たきり寸前の状態だった時期を経て、ここ2年位はよい変化が表れています。10月の「全国研究集会in栃木」では、夫・健太さん(仮名)の介護体験記が、抄録の誌面上で事例発表されます。

(編集委員 鈴木和代)



談笑する奈保美さん

本人登場 No. 123

私らしく
仲間と
ともに

変化に気づいてから診断を受けるまで

奈保美さんは51歳の時、変化に気づいて自分で物忘れ外来を受診しました。軽度認知障害と抑うつと診断され、その後もうつ症状と被害妄想に苦しみました。夜間の不穏をきっかけに、ご家族と精神科を受診。しかしうつ状態は改善せず、脳の画像検査を受け55歳の時に、若年性アルツハイマー型認知症と診断されました。

「家族の会」との出会い

3年前、医院の受付横で入会案内を見つけ「若年性認知症のつどい」にひかれ、初参加しました。その頃の奈保美さんは終日臥床し、言葉も少なく、健太さんは「このまま寝たきりになるのか…」と将来を悲観していました。初めは健太さんだけが参加して、じっくり話を聞いてもらえ、介護者が話すことの大切さを知りました。奈保美さんも、

世話人さんの導きで初参加時点からつどいになじむことができました。



奈保美さんと健太さん

今の暮らし

奈保美さんは生きる力を取り戻しつつあります。週に5日、小規模多機能のデ

イサービスに行き「起きて」過ごしています。家では日課の散歩や絵本の音読を健太さんと一緒にします。睡眠や体調を良好に維持するために、毎日気象予報をチェックして、衣類や寝具の調整に気を遣っています。時々コンサートや観劇などに出かけ、ご夫妻で非日常の時間を楽します。

回復の兆しに希望を託して

去年から週に1回、音楽療法に通い、その他に言語療法と作業療法の訪問を受けています。デイのない日は移動支援ヘルパーさんと外出します。人と関わりが増えていくにつれて、奈保美さんは、一時期失った「言葉」を取り戻し、それにつれて精神症状も改善しました。

奈保美さんは、健太さんと一緒に音楽療法や言語療法を受けることで落ち着いています。治らない病気だからといって諦めるのではなく、何かできることがあるのではないかと模索することが大事だと実感しています。これからもっと良くなるかもしれない、と希望を持っています。

〈取材をして…〉取材中、奈保美さんは私たちの会話に「ほんとに?」「違うでしょ?」と絶妙なタイミングで反応なさっていました。奇跡とも思える回復は、周りの人が絶対にあきらめずに関わり続けた結果だと思いました。

情報
コーナー

本人交流の場

(詳細は各支部まで)

宮城●9月3日・17日(木) 午前10:00～午後4:00/翼のつどい→泉区南光台市民センター

山形●9月15日(火) 午後1:30～3:30/若年性認知症のひと家族のつどい→精神保健福祉センター(小白川庁舎)

●9月19日(土) 午後1:00～3:00/置賜・本人のつどい→すこやかセンター

埼玉●9月19日(土) 午前11:00～午後2:30/若年のつどい・越谷→越谷市中央市民会館

●9月23日(水祝) 午前11:00～午後1:00/若年のつどい・大宮→大砂土ふれあいの里
千葉●9月27日(日) 午後1:00～4:00/若年のつどい→千葉県社会福祉センター

富山●9月5日(土) 午後1:30～3:30/てるてるぼうずの会→サンフォルテ
岐阜●9月20日(日) 午前11:00～午後3:30/各務原市のつどい→ニッケかみ野苑

●9月27日(日) 午前11:00～午後2:00/岐阜市のつどい→アルト介護センター長良
静岡●9月8日(火) 午前10:00～午後1:00/若年性のつどい→富士市フィランセ

三重●9月6日(日) 午後1:30～3:30/若年(本人)交流会・つどい→四日市総合会館

滋賀●9月9日(水) 午前10:00～午後2:00/ピアカウセリング→成人病センター職員会館

京都●9月27日(日) 午後1:30～3:30/若年のつどい→京都社会福祉会館
奈良●9月12日(土) 午後1:00～3:00/中和若年のつどい→奈良県社会福祉総合センター

広島●9月19日(土) 午前11:00～午後3:30/陽溜まりの会北部→三次市十日市コミュニティセンター

大分●9月5日(土) 午後1:30～3:30/若年性認知症のつどい→県社会福祉介護研修センター